

## 新年度のご挨拶

新緑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今回のニュースレターでは2022年度の実績報告をさせていただきます。

2022度もコロナ渦の影響は色濃い一年間でありましたが、新規の申し込みが37件と2021年度より5件増加致しました。徐々にコロナ前の新規申込数に戻りつつあります。また、訓練に参加された方の年代についてですが、2020年度は50代が10人と最も多く、2021年度は30代と40代がそれぞれ7名と最多でした。2022年度は30代が9名と最も多く利用されました。就労訓練事業の開始当初は年齢が高めの方のご利用が多かった印象ですが、昨今は若年層も含め幅広い年齢層の方が利用されています。

また、2022年度は3年ぶりに就労訓練事業交流会を開催することができました。認定事業所様だけでなく、区のご担当者様も交えての交流会を企画し、お互いの訓練に対する思いを聞いてとても良かったと好評をいただきました。

2023年度も一つ一つの就労訓練が有効なものとなるよう、就労訓練事業支援センターは丁寧なサポートに努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜市就労訓練事業支援センター  
所長 熊部 良子

## 2022年度の利用実績

2021年度からの継続者7名、2022年度新規訓練開始者27名の方が訓練を実施しました。

### 訓練開始

- ・2022年度の新規訓練申込 37名
- ・新規訓練開始 27名（非雇用型からスタート27名）

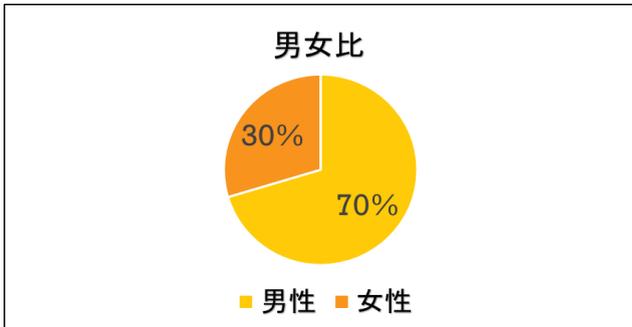
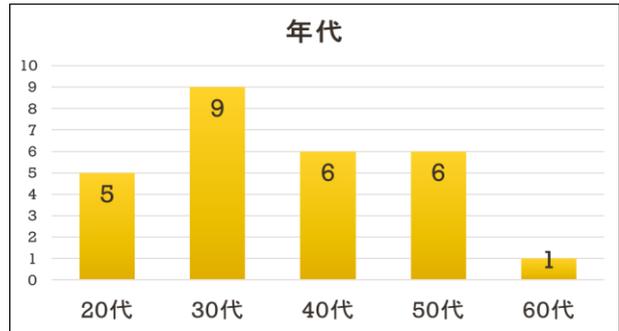
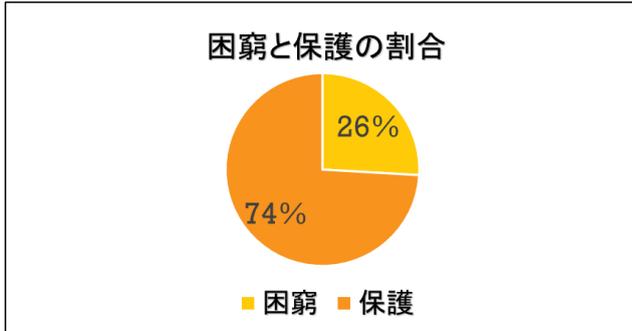
### 移行数

- ・非雇用型から雇用型へ移行 1名
- ・非雇用型・雇用型から直接雇用へ移行 6名

### 訓練終了後

- ・2022年度の訓練終了者は24名。訓練終了後の内訳は以下のとおり
- ・就職活動を開始 8名
- ・訓練先で直接雇用 6名
- ・障害や福祉施策の活用その他 10名

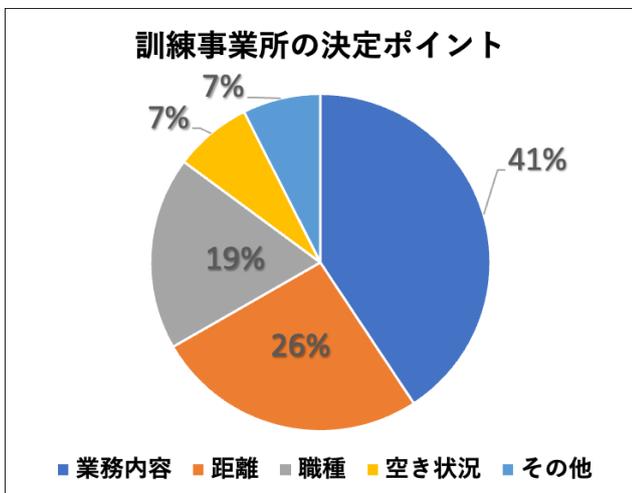
## 2022 年度新規就労訓練開始者の詳細



2022 年度の新規訓練開始者は 27 件でした。内訳は生活困窮者自立支援利用者が 26%、生活保護利用者が 74%であり、生活保護利用者が増加しました(2021 年度:困窮 31%、保護 69%)。

新規開始者の男女比は、男性 70%、女性 30%であり、2021 年度と比較すると男性の利用が増えています(2021 年度:男性 62%、女性 38%)。

年代別でみると、30 代・40 代の利用が増えた 2021 年度に引き続き、2022 年度は 20 代・30 代の利用が増え、若年層も含めて幅広い年齢層の方に利用いただきました。

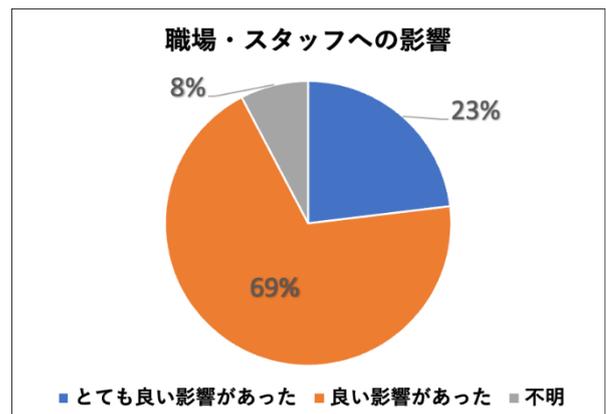
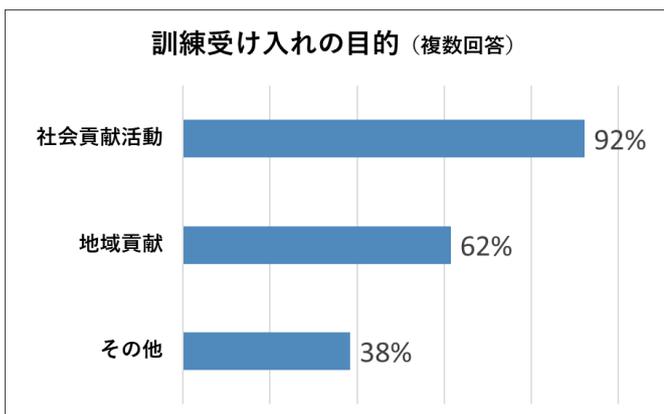


訓練事業所の決定のポイントは、「業務内容」に重きを置いた件数が 41%と最も多く、次に「距離」、「職種」、「空き状況」の順でした。

2022 年度の就労訓練実施においても、利用者お一人お一人の課題に応じた訓練目標を明確にし、認定事業所様のご協力のもと、目標に合わせた訓練を実施することで利用された多くの方の就労や社会参加が実現いたしました。

## 認定事業所への終了時アンケート結果

(回答数=13)



就労訓練を受け入れる目的は、「社会貢献活動」が最も多く、次に「地域貢献」でした。「地域貢献」は 2021 年度と比較して大幅に増えました(2021 年度:35%)。また、就労訓練を受け入れたことによる職場・スタッフへの影響については、「とても良い影響があった」「良い影響があった」を合わせて 92%が良い影響があったという回答でした。